



テレビでの大会告知



幼児の部に感動の笑顔が



大会参加で個人戦の表彰を受ける



お手玉は今、未来の希望となる



お手玉を使って健康運動

■ 情報提供
和歌山お手玉の会支部

第3回お手玉遊び和歌山大会 大人と子ども140人が参加

わかやま新報 2013年(平成25年)8月4日(日曜日) (2)

140人お手玉の技競う

河北コミセンで第3回大会

わかやま新報に大きく掲載。



お手玉をする参加者

和歌山 第3回お手玉遊び和歌山大会「とどけよう!」お手玉を頭に寄せたり玉のぬくもりが和歌山市市小路の河北コミュニティセンターで開かれ、県内外から参加した約140人が技を競った。和歌山のお手玉の会・ななこの会(森勝代代表)主催。個人戦は幼児、小学生、一般の3部門に分かれて行い、団体戦は20チームがトーナメントで競った。参加者は、片手で「片手2個を操る」お手玉3個を操る「両手3個ゆり」などの種目に真剣な顔付きで挑戦。落とした人

から脱落し、最後の1人になるまで競技は行われ、全員でお手玉を頭に寄せたり玉のぬくもりが和歌山市市小路の河北コミュニティセンターで開かれ、県内外から参加した約140人が技を競った。和歌山のお手玉の会・ななこの会(森勝代代表)主催。個人戦は幼児、小学生、一般の3部門に分かれて行い、団体戦は20チームがトーナメントで競った。参加者は、片手で「片手2個を操る」お手玉3個を操る「両手3個ゆり」などの種目に真剣な顔付きで挑戦。落とした人

【個人一般】両手4個ゆり(吉岡春江)▽両手投(和歌山)▽両手投げ3個ゆり(ジャグリング)▽吉本民代(和歌山)▽両手3個ゆり(窪田之恵)▽両手2個ゆり(和歌山)▽両手2個ゆり(和歌山)▽田村節子(京)▽敢闘賞(まほろば)▽片手2個ゆり(奈良)

【福永行洋(奈良)】
【団体】①大仏子(奈良)②すみほろば(奈良)が、トーナメント戦を勝ち進みました。

大会は個人戦に幼児の部が設けられ会場には大きな拍手の波が湧いた。

幼児の部を設け園児らが参加
両手ひとつゆりなどに挑戦

和歌山のお手玉の会では、7月27日(土)、第3回お手玉遊び和歌山大会を、和歌山市の河北コミュニティセンターで開催しました。大会には、県外の奈良、京都、大阪、香川などからの24人を含む、大人100人と子ども40人の140人が参加しました。

競技は、個人戦と団体戦で行われ、個人戦では、珍しく幼児の部が設けられ、両手2個ゆり、両手ひとつゆりに保育所の園児たちが挑戦し、会場から大きな拍手で健闘が称えられました。

団体戦の一般の部には、20チームが参加し、優勝・大仏(奈良)、準優勝・すみれ(和歌山)、敢闘賞・まほろば(奈良)が、トーナメント戦を勝ち進みました。